

北海道釧路市の野鳥で 高病原性鳥インフルエンザウイルス (H5N1亜型) 検出!! (野鳥国内2例目)

令和5年10月18日に北海道釧路市で回収された死亡野鳥1羽で遺伝子検査を実施した結果、高病原性鳥インフルエンザウイルス(H5N1亜型)が検出されました。

本事例は、今シーズンで2例目の野鳥における高病原性鳥インフルエンザの確認事例となります。

農場においては、改めて飼養衛生管理の徹底をよろしく申し上げます。

【詳細】

発見場所:北海道釧路市

回収日:令和5年10月18日

死亡野鳥:ノスリ1羽

簡易検査結果:10月18日判明 陰性

遺伝子検査結果:10月25日判明

10月26日最終判定

高病原性鳥インフルエンザウイルス 陽性
(H5N1亜型)

※本事例を受け、10月25日に野鳥サーベイランスの対応レベルを「対応レベル3」に引き上げ、野鳥の監視が強化されました。

防疫対策の徹底をお願いします！！

- 早期発見・早期通報の再徹底
- 防鳥ネットの再確認と人・車両出入りの厳重管理
- 農場周辺の消毒の徹底(消石灰散布等)等によるウイルス侵入防止の徹底

※異状があれば直ちに家畜保健衛生所へ連絡をお願いします！

東濃家畜保健衛生所

TEL:0573-26-1111(内線395) FAX:0573-25-7669

時間外連絡の場合は、警備室 0573-26-1114 にご連絡ください。